

## 2011 年グローバルアクションウィーク：授業計画書

「教育は人権だ！今こそ女子と女性の教育の保障を！」)

**イベントの目的：**世界中には何百万人の人々たちが学校へ行く機会を与えられていない国がある。その中でも過半数が女性、女子である。このイベントはその事実を認識し、生徒たちにジェンダーというあまり馴染みのない側面から世界をみえてみることを促進する運動である。さらに、そのことを学ぶだけでなく、この現実に対面している多くの人々を応援するためのメッセージを生徒たち側からも送ることを目標としている。

### 教材の目標：

1. 女子教育をすることによる利益の理解を深める。
2. 世界中の状況を理解することで、自らの環境や社会の理解を深める。
3. 女子が学校へ行くことにより広がる機会やそこまでの挑戦についての理解を深める。

	概要	例	注意点
第一章： 導入 (5分)	現在起こっているさまざまな現状を説明。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の 7200 万人の子供たちは学校・教育施設に行っていない。</li> <li>その中の 54% (約 3900 万人) は女子であり、2/3 の成人非識字者は女性である。</li> </ul>	各自授業内容に沿ってできるだけ関連している問題を取り上げることが望ましい。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育を受けていない女子は：結婚早期の傾向、さらに栄養失調の子供を持ち、その子供を病気で亡くす可能性が高く、貧しい家庭を持つことが多い。</li> </ul>	
	質問：あなたたちの周りの女性、女子で偉人はいるか？その女性は学校へ行ったか？		

第二章：ジェンダー役割と教育（？分）	質問：男子と女子の教育によって男女各々にマイナスに影響する状況を考えさせる。途上国において女性にとっての教育機会の大切さを話す。		
	（オプショナル）子供の権利条約（the Convention on the Rights of the Child）についてのディスカッション	<a href="http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html">http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html</a>	上級クラス向き
	地理やさまざまな文化、途上国においての子供たちの生活状況などについての知識を生徒に伝える。	ある国の統計、現状についての動画を用いると効果的。	
	<p>男女の教育において、どのようにしたら平等な機会を与えることを促進できるかを生徒たちに聞く。</p> <p>さまざまな仕事の名前をあげ、それらの仕事が典型的な男子・女子の仕事かを話す。</p> <p>生徒たちが家庭で行っている役割について話す。それらの仕事は特に男子、または女子によってこなされているか。また、その役割分担が平等かなど。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然災害により学校へ行くことができない。</li> <li>• 教育への資金が少なく、家族内の女子への投資が優先されない。</li> <li>• 家庭の仕事に専念するために女子は学校を強制的にやめさせられ、早期結婚を強いられるケースがある。</li> <li>• 学校までの距離が遠く、その間に多くの危険があるため家の外に出さない傾向がある。特に、性的いやがらせ（セクハラ）や暴力に関して。</li> <li>• 子供たちの中には家族を助けるために児童労働を強制させられる場合がある。</li> <li>• 子供たちは本や制服を買ったり、学費を払うことができない。</li> <li>• 学校の数が少なかったり、教師の人材も少ない場合がある。</li> </ul>	

	<p>仮定として、もし生徒たちが家庭の事情で明日から学校に行くことができないということになったらどう対応するか。</p>		
<p><b>第三章：</b> 我々に何が できるか (10分)</p>	<p>質問：女子が学校へ行くために何をすることができるかを問う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府からの補助により途上国での女子教育を普及させる。</li> <li>● 衛生設備を完備し、彼女たちのプライバシー問題について取り組む。</li> <li>● 女子に対するマイナスの固定概念を取り除く。</li> <li>● 学費やその他のコストをなくす。</li> <li>● 女性だけでなく、男性にも女子教育の普及支持者となるよう促す。</li> </ul>	
	<p>質問：</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何人の子供が学校に行くことができていないか。</li> <li>● 教育において、どのような人々が一番不利な状況であるか。</li> <li>● 教育を受けた女性において、知名人を一人挙げよ。</li> <li>● なぜ教育が必要であるかの理由を挙げよ。</li> <li>● 男女の教育においてどのような改善や変化が必要であるか。</li> </ul>	<p>数問のみ選択。</p>
<p><b>第四章：</b> エクササイズ (30分)</p>	<p>女子教育の重要性について生徒たちに問う。 絵を通して「女子教育が与える人々への効果」について考える。</p>	<p>教育を受けた女子は大人になってからより健康で、経済活動に活発で、その子供たちも学校へ通う傾向が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育を受けた女性は彼ら自身だけでなく、その子供たちにもより質の高い健康管理をすることができる。</li> <li>● 早期結婚を防止し、エイズなどの病気の感染をより避けることができる。</li> </ul>	<p>付属のリーフレットを参考に指導。(写生コンクールへの参加は自由)</p>

	<p>指導者は女子が学校へ行かないことによって自分たちにどのような影響を与えるかを考えるよう指導する。</p>		<p>2, 3人の生徒に発言させる。</p>
	<p>指導者は社会において皆が教育を受けることの利益について話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育を受けたものは健康的な人々であり、健康的な選択をすることが可能で、さらに健康についての情報をより受け取ることができる。</li> <li>• 教育を受けた親は飢餓に対してより強く対応ができる。従って栄養不足を防ぐことができる。</li> <li>• 教育を受けた親によって育てられた子供の5歳までの生存率は教育のない親の子供の2倍となる。</li> <li>• 教育は貧困削減にプラスの影響を与える。</li> </ul>	
	<p>指導者は女子や女性が学校へ行くことができない現実について正しいかどうかを聞く。</p>		

### 第3回 UNGEI 絵画コンクール

テーマ：「女子教育がいかにすべての人々のためになるか」

応募〆切：2011年8月1日必着

このたび、United Nations Girls' Education Initiative (UNGEI) 東アジア・太平洋(EAP)および南アジア(SA)のパートナーが協力し、教育のジェンダー平等を推進するための第3回絵画コンクールを開催いたします。

本年は、「女子教育がいかにすべての人々のためになるか」(“How does girls' education help us all?”)をテーマに、想像力豊かな作品を募集します。多様なバックグラウンドを持った、たくさんの子供たちの参加をお待ちしております。

#### 賞：

- すべての応募作品から選ばれた13点の入賞作品は、UNGEI (EAP&SA 出版の2012年カレンダー「Gender in Education Calendar 2012」)に掲載されます。このカレンダーは、アジア・太平洋地域の国々に広く配布される予定です。
- 入賞者13人には、賞状と Gender in Education Calendar 2012 が授与されます。
- 入賞作品は、本コンクールの開催団体のウェブサイトに掲載されます。さらに、入賞作品およびすべての応募作品は、UNGEI パートナー団体の出版物、発表資料、ウェブサイト、その他の啓蒙活動資料に掲載されます。

#### 作品の仕様：

作品は、「女子教育がいかにすべての人々のためになるか」についての参加者の考えや印象を描いたものとします。

- サイズは、A4までとします。
- 白黒・カラーのいずれでも構いません。
- クレヨン、鉛筆、絵の具など画材の種類は問いません。
- 題材の例としては、スポーツ活動、家庭での活動、遊びの様子、学校の様子などが挙げられますが、この限りではありません。

#### 著作権：

参加者は、本コンクール主催者に作品を提出することにより、主催者である UNGEI のパートナー組織・機関が作品に関する情報(作品、作者名、国籍、年齢)を主催者の出版物・発表資料・ウェブサイト・書類・啓蒙活動資料に、クレジットの目的で掲載することに了承したものとします。

提出されたすべての作品の著作権は UNGEI、または UNGEI のパートナー組織・機関に帰属します。

#### 応募者資格：

- 本コンクールは、アジア太平洋地域のすべての国民と居住者を対象とします。
- 18歳以下であること。
- 男女とも平等に参加を奨励します。

#### 応募作品数：

- 参加者1人につき、複数の作品の提出が可能です。

#### 応募方法：

添付の登録フォームに英語で必要事項をご記入ください。

参加者は、本コンクール主催者に作品を提出することによって、主催者が作品に関する情報(名前、年齢、国籍)を主催者の出版物・ウェブサイトに掲載することに了承したものとします。それ以外の個人情報は一切公開しません。

作品は、郵送あるいは電子コピーで提出してください。

#### 郵便の場合の提出先：

UNESCO Bangkok  
APPEAL Unit  
920 Sukhumvit Road, Prakanong, Klongtoey  
Bangkok 10110, Thailand

Eメールによる提出先：[gender.bgk@unesco.org](mailto:gender.bgk@unesco.org)

(作品の電子コピーでの提出の場合、形式は、TIFF、EPS、あるいは JPEGのみで、300dpi以上の解像度のものに限りません。)

#### 審査・発表：

提出された作品はすべて2度の審査の過程を通じて選ばれます。第1次審査は UNGEI のメンバーによって行われ、1次審査を通過した作品は第2次(最終)審査のためにオンラインで一般公開され、最終的に13人の入賞者が決定されます。入賞作品は、2011年11月に発表されます。

#### 参加費：無料

イベントやその他に関するお問い合わせはこちらまでご連絡をお願いします。[gender.bgk@unesco.org](mailto:gender.bgk@unesco.org)



## “How does girls’ education help us all?”

### Registration Form

#### 登録フォーム

作品 1 点につき 1 枚の登録フォームを提出してください。必ず英語で記入（または日本語記入で英語併記）してください。

姓 (Family name) : .....

名 (First Name) : .....

年齢 (Age) : .....

性別 (Sex) : .....

住所 (Postal address) : .....

国 (Country) : .....

Eメール（学校のメールも可） (Email address) : .....

作品を提出することにより、主催者である UNGEI のパートナー組織・機関が作品に関する情報（作者名、国籍、年齢）を主催者の出版物・発表資料・ウェブサイト・書類・啓蒙活動資料に掲載することをここに同意します。

参加者の署名 (Signature of contestant) : .....

教師もしくは保護者の署名 (Signature of guardian/teacher): .....